

令和元年 7 月 1 日

報道関係者 各位

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]  
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」 / 「東京 2020 公認文化オリンピック」 事業

**「キッズ伝統芸能体験」開講式のご案内**

開催日時：7 月 28 日（日）11 時～ / 会場：国立能楽堂

東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、及び公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協] は、子供向けの本格的な伝統芸能体験プログラム「キッズ伝統芸能体験」を実施しております。本年度で 12 回目を迎え、これまでに 3,300 人を超える子供たちが参加してきました。

このたび、下記の概要で、特別な「お稽古はじめ」の一日となる開講式を開催します。その後、能楽、長唄、三曲、日本舞踊の一流の実演家による数か月にわたる稽古を経て、12 月には、国立劇場小劇場と宝生能楽堂の晴れ舞台でその成果を披露します。この一連の体験を通して、技術のみならず、日本の文化や精神を伝え、子供たちの豊かな感性を育てることを目的としています。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが、初々しい子供たちの表情をご覧いただき、彼らの成長を見守っていただきたく、是非、ご取材・ご観覧くださいませようご案内申し上げます。

ご来場の際は、別添様式によりご連絡を賜りますようお願い申し上げます。

- 【開催日時】 令和元年 7 月 28 日（日）11 時～12 時 05 分（予定） ※プレス受付開始 10 時 30 分
- 【会場】 国立能楽堂（最寄駅：JR「千駄ヶ谷」駅ほか ※別紙「会場略図」参照）
- 【主催】 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、  
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]
- 【内容（予定）】 挨拶：野村萬（公益社団法人日本芸能実演家団体協議会会長）  
協力団体及び講師の紹介  
講師実演：長唄「越後獅子」、箏曲・尺八「楓の花」、日本舞踊「元禄風花見踊」、  
舞囃子「春日龍神」（能楽）
- 【参加者】 受講者（一般公募の小学生から高校生まで約 350 人）、その保護者、講師等



昨年度の開講式の様子（左）（中央）（右） 撮影：武藤奈緒美

\*\*\* 事業・取材に関するお問合せ \*\*\*

【企画制作・運営】公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]  
芸団協内「キッズ伝統芸能体験」事務局 広報担当：和久井（わくい）/ 事業担当：布目（ぬのめ）  
TEL 03-5909-3060（平日 10:00～18:00） / FAX 03-5909-3061

\*公式サイト [www.geidankyo.or.jp/kids-dento/](http://www.geidankyo.or.jp/kids-dento/) \*Facebook [www.facebook.com/kids.dento.geino/](https://www.facebook.com/kids.dento.geino/)  
\*Instagram [www.instagram.com/kids\\_dentogeino\\_taiken/](https://www.instagram.com/kids_dentogeino_taiken/)

**「キッズ伝統芸能体験」開講式 取材申込書**  
**令和元年7月 28 日(日) 11 時より 於:国立能楽堂**

**FAX送信先: 03-5909-3061    《締切:7月25日(木)》**

お手数ですが、枠内をご記入の上、7月25日(木)までにFaxか下記メールにてお申込みください。

ご所属		お名前	
ご連絡先	* 電話番号、メールアドレス、ファクシミリなど。	電話番号	* 当日ご連絡が取れる電話番号をお願いします。
撮影有りの場合	ムービー ・ スチール *どちらかに、○をつけてください。	人数	名

\*\*\* 取材のお問合せ・お申込み \*\*\*  
 芸団協内「キッズ伝統芸能体験」事務局 広報担当:和久井(わくい)  
 Tel:03-5909-3060 / E-mail:kids-office@geidankyo.or.jp/

**【会場略図】**



**国立能楽堂**

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1

- ◇JR中央・総武線「千駄ヶ谷」駅下車徒歩約5分
- ◇都営地下鉄大江戸線「国立競技場」駅下車 A4 出口から徒歩約5分
- ◇東京メトロ副都心線「北参道」駅下車 出口1から徒歩約7分

※専用駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。



昨年度のお稽古の様子  
 (左)箏曲、(右)日本舞踊  
 撮影:武藤奈緒美